

第3回 繁栄のフロンティア部会 「2050年の日本の繁栄のために」

2012年3月12日

株式会社サキコーポレーション
代表取締役社長 秋山 咲恵

今回の長期ビジョン策定における視点と提案

■これまで多くのビジョンや成長戦略が策定されたが
経済成長は達成されていない

多くの人が「具体策はあるが実行不足」と感じている

■実行を強力に後押しする具体的な仕掛けの提案

■繁栄のフロンティア部会(報告書)として、
良識あるサイレントマジョリティを刺激する
よりよき未来を切り拓く「強いメッセージ」を表明したい

実行を後押しする仕掛けとしての基本原則(ドクトリン)

■旧弊を改めるということへの言及

サイレントマジョリティとなっている多くの良識ある国民からみて、なぜ？と感じている旧弊を改める前提がなければ、
どんなに素晴らしいビジョンもリアリティがない

旧弊を改める しがらみのある歳出カット、
を強力に進めるための**基本原則(ドクトリン)**を持つ

「歳出を減らした分を**未来への投資**として成長に回す」

何をするかだけではなく、何をやめるかの議論(提案)も必要

2050年の日本の繁栄のために 「人 材」

■ 日本の繁栄(成長)の源泉は、 いままでもこれからも「人材」

日本人の人材としての強み*は、自然と風土、歴史と伝統と一体不可分なものであり、グローバルで活躍する企業や個人にとってもアイデンティティとなるべきもの

「人材の価値を高めて、日本の経済を強くする」ということを
国家戦略の柱としてはどうか

“Japanese As Excellent”戦略

*平均点の高さ、仕事の丁寧さ、きめ細やかさ、心配り、

2050年の日本の繁栄のために 「人 材」

■ 目標設定の提案

2012年に生まれた子供が

Q1) 13歳になる2025年にどのような教育を与え、

Q2) 38歳になる2050年に

どのような生活ができるようにするのか

A1) グローバルに活躍する能力の開発

A2) ダブルインカムツーキッズ世帯を中心とした

ぶあつい中間層の形成

グローバルで活躍できるフロンティア人材の輩出

未来への投資のために

未来への投資として、実行可能な政策の選択肢を確保するためにも、
歳出の最大項目である社会保障費の抑制が最も効果的かつ必要

“Cool Senior 75”作戦の提案

75歳まで年金に頼らず、健康で明るく地域社会で
自立した生活を送れるカッコイイ高齢者を増やす

- 将来世代へのツケの先送りを少しでも回避する
- 長寿時代にふさわしい高齢者の明るいライフスタイルを
創出し少子高齢化問題克服の世界のトップランナーになる
- 65歳定年＋長い老後生活から、男女問わず75歳まで
複数のキャリアを組み合わせる働き方を可能とする社会に変える

2050年の日本の繁栄のために 「世界への貢献」

日本は**世界(とりわけアジア)の良き隣人として世界に貢献する**
という国家のミッションを掲げることを提案したい

世界がこれから直面する課題

- ・食 糧
- ・エネルギー
- ・医 療 など

を研究開発・技術開発・システムと経験で解決 (貢献) する

グローバルな視点で課題を発見し、問題を解決するという
発想が日本の繁栄につながるはず

未来を切り拓くメッセージの提案

1. 旧弊は勇氣をもって改め、
「歳出を減らした分を**未来への投資**として成長に回す」と
いう基本原則をもとう
2. 日本の繁栄(成長)の源泉は、いままでもこれからも「人材」
「人材の価値を高めて、日本の経済を強くする」
ということを国家戦略の柱に
3. 75歳まで年金に頼らず生活できる元気な高齢者を増やそう
4. 日本は**世界(とりわけアジア)の良き隣人として世界に貢献する**というミッションをもとう